



# 危ない！危ない！

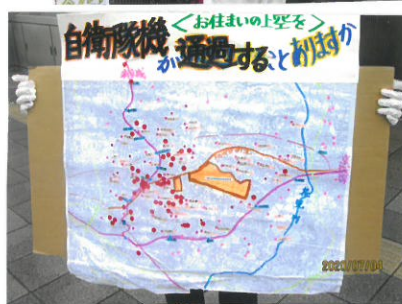
## “日の丸オスプレイ” 実戦配備

沖縄普天間基地に米海兵隊のオスプレイMV-22が24機、横田基地に米空軍のオスプレイCV-22が5機(将来10機)配備されており、日本中を自由に勝手に夜間だろうが低空だろうが飛び回っています。(日米地位協定で日本の法律適用ナシ)

オートローテーションもない危険なオスプレイ、低周波のうるさい騒音オスプレイと嫌がられ世界中で米軍以外のどこの国も購入していませんでした。それを日本は1機200億円のオスプレイMV-22を17機購入(3600億円)し陸上自衛隊にオスプレイ団を新設。

”日の丸オスプレイ“を暫定配備と言って木更津駐屯地に2020年7月10日岩国基地からまず1機(予定定まらないが2機目も配備される)が実践配備されました。

「オスプレイはいらんない!」「暫定配備反対」「整備拠点の拡大反対」と多くの市民が反対の声を上げています。6/29には防衛省に対して「陸自オスプレイくるな!」の緊急抗議行動が。7/4にはJR津田沼駅北口デッキにて「武器見本市もオスプレイもいらんない!」街頭アピールが行われました。



7月6日には強い雨と風の中木更津市北公園で“オスプレ飛来監視・抗議行動”が展開されました。当初7/6の飛来予定が岩国での大雨、木更津の風と雨で12:00時ごろ岩国を飛び立つ予定が中断となり6日の飛来はなくなりました。雨風の中150名以上の市民が北公園で反対の声をあげました。木更津地元の「オスプレイ来るな!いらんない住民の会」の会長をはじめ東京・神奈川の基地の町から、そして県内船橋・習志野・鎌ヶ谷の基地問題を抱える市民からオスプレイの暫定配備・整備拠点強化反対の声が上がられました。

今回岩国から飛来できなかったことでオスプレイは雨が降ったら飛べない軍用機であることが分かりました。これまでの墜落事故の検証では“気流の乱れがあったので”“砂塵が巻きあがるような所に降りたのでエンジントラブルを起こしたのです”と機体の安全性には問題はなく、操縦士の問題と言っていました。今度は雨が降るから岩国から木更津へ飛来できないということでオスプレイの安全性・機能の脆弱性が明らかに…危ない危ないオスプレイであることが立証されました。

6日の抗議の住民の集まり・発言の中で、木更津へのオスプレイ導入の持っている意

味は“日米軍事一体化、戦争遂行体制を具体的に推進する一大拠点化である”ことが明らかになってきました。



- ① 木更津のオスプレイ整備拠点が沖縄の米海兵隊(24機)だけでなく米海軍のCMV・22、そして陸自の日の丸オスプレイ17機を整備するために今の2機から10機の整備体制へ。格納庫も更に2庫増設との事。
- ② 米海軍のオスプレイをも整備することで横須賀の原子力空母との関連も強まってくる。
- ③ 習志野空挺団との訓練一体化により、千葉県・首都圏全域でのオスプレイ訓練へと拡大する(習志野空挺団の降下訓練では下総基地が重要な中継拠点)
- ④ 横田基地の米空軍 CV・22 オスプレイとの連携が日米軍事一体化・整備体制一体化の中から模索されているようです。

7/6の飛来予定が7/8に変更されたが8日も雨のためオスプレイは飛行できませんでした。7/10に再度の変更。

7月10日にも住民は北公園で抗議行動を展開しました。

岩国 12:00 時発の予定でしたが天候不良のため延期。14:00 時にやっと岩国から飛び立ち 16:00 時ごろ木更津に飛来しました。

雨や風で飛べないなら、ず～とこないでくれが住民の思いでしたが政府と一部の首長との同意(木更津市長・森田知事)で住民の反対を無視してやっぱり来てしまいました。悔しい思いです。市民はあきらめず反対の声を上げていくことを決意表明しました。



オスプレイの問題は木更津だけの問題ではないことが明らかになりました。

“木更津の空に、君津も富津も袖ヶ浦の空にもオスプレイはいらない!”

“習志野・船橋・八千代の空にもオスプレイはいらない!下総基地へのオスプレイ飛来は絶対に認めない!”

“横田・横須賀・厚木など首都圏の空にもオスプレイはいらない!”

“岩国・沖縄の空にもオスプレイはいらない!”

“日本のどこにもオスプレイはいらない!!”

「民主主義と自治そして平和主義」ふじしろ政夫 047-445-9144

\*活動報告HPに掲載「いい鎌ヶ谷ふじしろ政夫」でアクセスできます。